

## 第 118 回日展

### 第 2 科（洋画） 審査所感

審査主任 小 灘 一 紀

伝統のある日展の良さを見い出す作品を選定しようと、審査員一同、真剣に取り組みました。

残念ながら落選した作品の中には、良い作品もありましたが、昨年とほぼ同じくらいの入選者を厳選の上決定させていただきました。残念なのは、技術は高いが類型的で個性を感じる作品が少なかったことです。

日本を取りまく環境は厳しくなるばかり。そのような世の中で芸術がなければ人間は生きていくことが出来ないと思います。芸術は魂の表現であり、「生命の実存とは、人間の実存とは」何かということを問い続けて悪戦苦闘する作家も欲しいものです。

特選 10 名の選定には外部審査員の先生方に貴重な御意見をいただき一作ごとに話し合いながら選びました。新しい自己表現を期待しています。

外部審査員の橋本善八先生と土方明司先生には御多忙の中、審査をしていただき大変感謝しております。

搬入数 1,372 点  
入選数 541 点  
(内新入選) 60 点